

平成17年3月期 第1四半期財務業績の概況(連結)



平成16年7月26日

(コート番号:7480 登録銘柄)

会社名 スズデン株式会社

(URL <http://www.suzuden.co.jp/>)

問い合わせ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 鈴木 敏 雄
責任者役職・氏名 取締役上席執行役員総務部長 鈴木 茂

TEL (03) 5689-8001

1. 四半期財務情報の作成等にかかる事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有

(内容)

・固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産

(2)無形固定資産

・法人税等の計上基準

年度見込額のうち当四半期分を計上しております。
年度見込額のうち当四半期分を計上しております。
法定実効税率をベースとした年間予測税率により
計算しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更： 無
の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況： 無

2. 平成17年3月期第1四半期の業績概況(平成16年4月1日～平成16年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	10,142	()	277	()	339	()	185	()
16年3月期第1四半期	()	()	()	()	()	()	()	()
(参考)16年3月期	37,222	(9.1)	817	(177.1)	1,028	(96.9)	538	(168.6)

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	12 84	
16年3月期第1四半期		
(参考)16年3月期	36 11	

(注) 1. 当四半期(平成16年4月1日～平成16年6月30日)は開示初年度であるため、前年同四半期との数値比較は行っておりません。

2. (参考)16年3月期の売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗に関する定性的情報等]

当連結第1四半期における当企業集団を取り巻く環境は、前期から続く世界的なデジタル化の動きに伴い、生産活動ならびに設備投資の復調が引き続き堅調に推移しており、日本の景気に改善が見られ、着実な回復が続いております。しかし、先行きの見通しとして、米国および中国の引き締め施策の影響、原油価格の高止まり等の不安材料からも不透明感は払拭されない状況にあります。

当企業集団の主力顧客である電子部品業界におきましては、デジタル家電・デジタルカメラ等の生産高の増加や設備投資の増加を受け、半導体製造装置関連機器メーカーおよび液晶関連・産業機械メーカー等の生産活動が好調に推移しております。一方で、電設資材業界におきましては、公共投資の回復は見られず、市場環境は引き続き厳しい状況が続いております。

こうした環境のもと、第1四半期においては、当社の主力分野であるFA機器分野ならびに電子・デバイス分野の牽引により、売上高および経常利益ともに順調に推移いたしました。

この結果、第1四半期の連結売上高は101億42百万円、営業利益は2億77百万円、経常利益は3億39百万円、四半期純利益は1億85百万円となりました。

(2)財政状態の変動状況

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	23,605	12,558	53.2	871 82
16年3月期第1四半期				
(参考)16年3月期	23,694	12,567	53.0	871 19

(3)連結キャッシュ・フローの状況

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	220	63	180	2,917
16年3月期第1四半期				
(参考)16年3月期	179	193	317	3,381

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報]

財政状態の変動状況

総資産は88百万円減少いたしました。これは主に、流動資産の減少によるものですが、現預金の減少4億64百万円ならびに未収入金の減少1億75百万円が、売上増に伴う売上債権の増加1億74百万円、たな卸資産の増加3億86百万円を上回ったものです。

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは2億20百万円の減少となりました。これは、税金等調整前四半期純利益3億47百万円、減価償却費24百万円に対し、売上債権の増加1億44百万円、たな卸資産の増加3億86百万円、仕入債務の増加2億18百万円ならびに法人税等の支払3億11百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、少額減価償却資産の未払金支払42百万円を主な要因として63百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により1億80百万円の減少となりました。

この結果、現金および現金同等物の増減額は4億64百万円の減少となりました。

(参考)

平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	20,410	525	265
通期	41,965	1,280	665

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 46円 16銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成16年5月20日発表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

[添付資料]
(要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:千円、%)

科 目	当 四 半 期 (平成17年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1. 現金及び預金	2,917,213				3,381,305
2. 受取手形及び売掛金	12,534,727				12,359,785
3. たな卸資産	1,615,306				1,228,313
4. 繰延税金資産	155,654				155,654
5. その他	128,004				308,837
貸倒引当金	106,717				105,313
流動資産合計	17,244,189				17,328,582
固定資産					
1. 有形固定資産	4,909,911				4,929,689
2. 無形固定資産	151,234				154,002
3. 投資その他の資産	1,542,432				1,555,903
貸倒引当金	241,935				274,113
固定資産合計	6,361,642				6,365,483
資産合計	23,605,832				23,694,065
(負債の部)					
流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	6,636,108				6,417,996
2. その他	1,791,289				1,587,743
流動負債合計	8,427,398				8,005,739
固定負債					
1. 長期借入金	1,250,000				1,750,000
2. 退職給付引当金	1,062,436				1,064,617
3. その他	307,430				306,236
固定負債合計	2,619,867				3,120,853
負債合計	11,047,266				11,126,592
(少数株主持分)					
少数株主持分					
(資本の部)					
資本金	1,819,230				1,819,230
資本剰余金	1,527,493				1,527,493
利益剰余金	9,423,082				9,436,140
その他有価証券評価差額金	86,267				81,926
為替換算調整勘定	20,637				20,448
自己株式	276,870				276,870
資本合計	12,558,566				12,567,472
負債、少数株主持分及び資本合計	23,605,832				23,694,065

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:千円、%)

科 目	当 四 半 期 (平成 17年 3月期 第 1 四 半 期 末)	前 年 同 四 半 期 (平成 16年 3月期 第 1 四 半 期 末)	増 減		(参考) 平成 16年 3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	10,142,736				37,222,086
売上原価	8,644,840				31,540,396
売上総利益	1,497,895				5,681,689
販売費及び一般管理費	1,220,586				4,864,605
営業利益	277,309				817,084
営業外収益	81,479				289,493
営業外費用	19,206				77,943
経常利益	339,583				1,028,634
特別利益	7,796				15,661
特別損失					7,391
税金等調整前四半期 (当期)純利益	347,379				1,036,905
税金費用	162,375				498,716
四半期(当期)純利益	185,003				538,188

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(3) 四半期連結剰余金計算書

(単位:千円)

区 分	当 四 半 期 (平成 17年 3月期 第 1 四 半 期 末)	前 年 同 四 半 期 (平成 16年 3月期 第 1 四 半 期 末)	(参考) 平成 16年 3月期
	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	1,527,493		1,527,493
資本剰余金四半期末(期末)残高	1,527,493		1,527,493
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	9,436,140		9,013,195
利益剰余金増加高	185,003		538,188
1. 四半期(当期)純利益	185,003		538,188
利益剰余金減少高	198,062		115,243
1. 配当金	180,062		115,243
2. 取締役賞与金	18,000		
利益剰余金四半期末(期末)残高	9,423,082		9,436,140

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当 四 半 期 (平成17年3月期 第1四半期末)	前 年 同 四 半 期 (平成16年3月期 第1四半期末)	(参考) 平成16年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	347,379		1,036,905
2. 減価償却費	24,221		98,573
3. 売上債権の増()減額	144,209		1,404,435
4. たな卸資産の増()減額	386,994		76,000
5. 仕入債務の増・減()額	218,806		1,047,059
6. その他	36,211		94,345
小 計	95,416		796,446
7. 法人税等の支払額	311,285		600,314
8. その他	4,320		16,908
営業活動によるキャッシュ・フロー	220,189		179,223
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得による支出	53,048		282,717
2. 投資有価証券の売却による収入	18,266		32,049
3. その他	28,406		57,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	63,187		193,358
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入れによる収入	200,000		400,000
2. 短期借入金の返済による支出	200,000		400,000
3. 配当金の支払額	180,062		115,243
4. その他			432,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	180,062		317,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	651		5,227
現金及び現金同等物の増・減()額	464,091		298,221
現金及び現金同等物の期首残高	3,381,305		3,083,083
現金及び現金同等物の期末残高	2,917,213		3,381,305

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(5)セグメント情報

1.事業の種類別セグメント情報

当社企業グループは、FA機器、情報・通信機器、電子・デバイス、電設資材等の販売を主としており、製品の種類・性質、販売市場等の類似性から判断して、単一事業と考えられるため、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

2.所在地別セグメント情報

当四半期及び前連結会計年度における全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

3.海外売上高

当四半期及び前連結会計年度における海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(参考資料)

販売の状況]

(単位:千円)

	当 四 半 期 (平成17年3月期 第1四半期末)
区 分	金 額
F A 機 器	5,385,097
情 報 ・ 通 信 機 器	1,398,760
電 子 ・ デ バ イ ス	798,570
電 設 資 材	2,560,307
合 計	10,142,736

[平成17年3月期第1四半期の商品分野別業績コメント(連結)]

FA機器分野

企業収益の改善や、アテネ五輪の追い風を受けた個人消費の復活による、デジタル家電・デジタルカメラ等の生産高の増加や設備投資により、半導体製造装置関連機器メーカー、液晶関連メーカー、産業機械メーカー等へのグラフィックパネル、プログラマブルコントローラ、視覚認識装置、各種センサー等の販売が好調に推移し、売上高は53億85百万円となりました。

情報・通信機器分野

個人向けの販売回復に遅れはありますが、産業用機器組込み用ボードや法人へのパソコンおよび周辺機器の販売が順調に推移し、売上高は13億98百万円となりました。

電子・デバイス分野

FA機器分野同様、半導体製造装置関連機器メーカー、液晶関連メーカー、産業機械メーカー等へのコネクタ、スイッチングパワーサプライ、基盤用リレー等の販売が好調に推移し、売上高は7億98百万円となりました。

電設資材分野

一般建設、工場新設ともに大幅な回復は見られませんが、リニューアル需要への販売力強化、秋葉原地区再開発需要等により、ボックス、配線材料等が堅調に推移し、売上高は25億60百万円となりました。